

● 「スタートアップエコシステム構築に向けた産学官金連携によるスタートアップ支援」

(山口銀行)

1. 取組の概要

- ・地域発のスタートアップ創出や地域のスタートアップエコシステム構築に向け、2018年度からYMFG ZONEプランニング(山口フィナンシャルグループ子会社)を中心に、山口県主催のアクセラレーションプログラムや宇部市の創業支援施設の運営等、各種取組を実施。
- ・2023年度は、スケールを目指す起業家、起業に関心をもつ学生(高校生、大学生)、社会起業家を目指す方を対象に各種プログラムを実施中。その他にも県内高校に対する起業家教育支援事業も実施しており、地域全体の支援レベル底上げ、起業・創業に係る機運醸成を図っている。

2. 取組を始めるに至った経緯、動機等

- ・我が国のスタートアップは首都圏に集中している状況を踏まえ、「若者に憧れを抱かせるようなスタートアップを山口県から創出し、地方におけるスタートアップエコシステムを構築する」との目標から、2018年より、支援機関(産)や自治体(官)などと連携の上、スケールを目指すスタートアップを発掘、育成し、資金調達できる状態まで伴走支援するアクセラレーションプログラムを実施。
- ・プログラムを進めていく中で、大学が保有する技術の活用や学生起業家の出現などを契機として、県内大学(学)との連携も強化し、地域におけるスタートアップ支援のための産学官金連携体制を構築することとなった。

3. 具体的な取組内容

- ・2020年度から山口県主催のアクセラレーションプログラムの事務局を受託し、県内スタートアップ候補を対象に、全国、世界へと羽ばたく起業家を生み出していくための各種プログラムを開催。2023年度は、学生自らが考案したビジネスプランを地元企業協力のもと実証していく新規事業開発体験プログラムや、県内7つの高校に対し、各校の教育方針に沿った起業家教育プログラムを教職員と共に実践する起業家教育支援事業を実施。
- ・起業支援窓口として、2018年から宇部市のインキュベーション施設「うべスタートアップ」の運営を受託。2022年6月に山口大学と連携した学生向け起業相談窓口「Fun Fun Salon」を開設。
- ・山口フィナンシャルグループ主催で、2023年1月に「地方×スタートアップ」をテーマとした地方創生サミット(SAS)を開催し、約1,000名が来場。

4. 実施にあたり工夫した点(金融機関の役割・推進体制面・PDCAサイクル面等)

- ・起業家発掘・育成はYMFG ZONEプランニング、資金調達・成長支援は山口銀行、山口キャピタルが担い、グループをあげての伴走支援を実施することで、無関心層から成長期の層まで幅広い層に対し、それぞれのステージに応じたプログラム等支援策を提供している。
- ・エコシステム構築には支援者の育成も必要であるため、スタートアップに馴染みのない地元各機関向けに普及啓発セミナーを開催。各種プログラムに地元支援機関や地元企業が参画する機会を創出し、オープンイノベーションの啓発にも努めている。また、エコシステム構築に向けて、本取組を通じて誕生した起業家が、起業家予備軍のメンターや各種プログラムの講師として参加者への支援を行っている。

5. 取組の成果(取組中の場合は目標値・KPI等)

- ・本取組を通じて、10名以上の起業家が誕生(2023年12月末時点)。2021年度に誕生した衛星データを活用したプラットフォームサービスを提供する「(株)New Space Intelligence」は、総務省・NICT主催「起業家万博」にて審査員特別賞を4つ受賞し、山口銀行、山口キャピタル等から資金調達を実現。また、2023年10月に中国経済産業局よりJ-STARTUP WEST選定企業にも選ばれるなど、地域におけるスタートアップのベンチマーク企業となっている。

6. スキーム図等

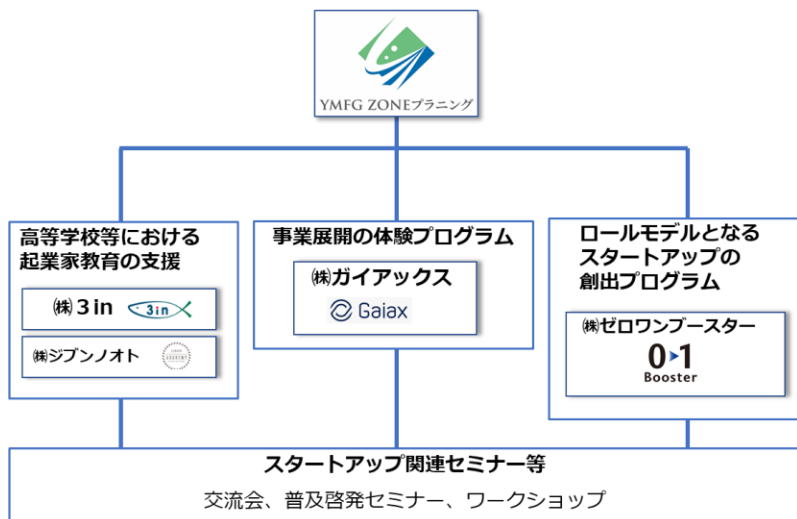
YMFGのスタートアップ支援

○フェーズに応じた段階的なプログラム

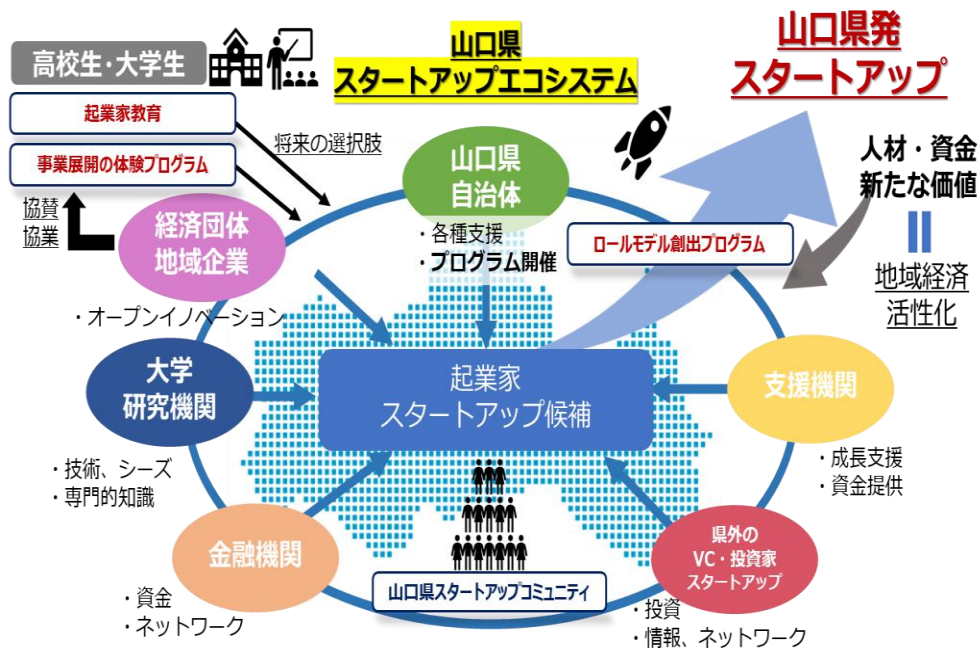
地域、社会の様々な課題に対し、新たなサービスやテクノロジーで解決に挑む起業家の事業化支援として、**アイデア段階から事業拡大まで、YM-ZOPと山口キャピタルが連携して段階に応じたプログラムを実施**



2023年度山口県から受託のスタートアップ支援プログラム



山口県スタートアップエコシステム



ピッチイベントin松下村塾



高校起業家教育



地方創生サミットSAS



山大Fun Fun Salon



NSI社合同記者発表